広報にいつ

発行所　新津市役所
発行人　新津市役所総務企画課
電話　代表650番
印刷所　東洋館印刷所
毎月一回　発行

人口 五六、五九四人

国勢調査概数まとまる

十月一日の国勢調査は二百二十八名の調査員をはじめ市民各位のご協力によって予定通り終了されました。

調査票は既に県段階の審査を終り国で集計されていますが、来審査終了時の新津市総人口は五万六千五百九十四人で前回の国勢調査人口五万六千四人と前回を上まわる見込みです。

人増加しています。

また、世帯数は一万一千九百二十一世帯で前回の調査より一千六十一世帯もふえ、一世帯当たりの人員は四、七人（前回は五、一七人）となっています。

なお総人口の男女別は男二万七千二百七人、女二万九千三百八十七人で男女比は女一〇〇に対し男九三、人口密度は一K平方当たり七百二十五人になります（この数字は市の「ほう宮条例」による貯れの表彰式は、十一月二十三日午後二時から百二十五名が出席して行なわれ、市長の式辞に次いで功績のあった個人および団体を表彰、県知事、市議会議長の祝辞があって表彰式を終了しました。

今回表彰された方は、二面掲載個人七三名、団体二であります。

なお、ほう賞の対象と統計局が発表するものの概数です）。

このほか調査項目の細部については国の集計結果がまとまり次第お知らせする予定ですが、地方人口の都市集中化により他市町村の人口が軒なみに減少している中で、当市の人口が増加のかげりとも、逐次増勢傾向を見せる物語るものといえようです。

市では国勢調査の集計資料を今後の教育、文化、産業等の発展と市民生活の向上に積極的に役立ててゆく方針です。

投票率七四、〇七％

悪天候下の知事選挙

十一月十四日に行なわれた県知事選挙は、折悪しく悪天候にわざわいされましたが、投票結果は七四、〇七％の成績でした。

この投票率は、六月実施の市長選挙の八七、九二％、九八七、九二％には、はるかに及びませんが前回の知事選挙の投票率六九、八九％にくらべ四、一八％上まわる成績です。

また市内二十八投票区では第二十五投票所（小口）の九〇、一六％（男八五、五三％、女九三、七二％）がもっともよく、第十五投票所（三津屋）の六二、七二％（男七七、八％、女四九、七五％）が最低の投票率でした。

なお、開票は即日午後七時四十分から第一小学校体育館で行なわれ、十時三十分に終了しました。

投票成績及び得票成績は別表のとおりでした。

区分	当日有権者数	投票者数	棄権者数	投票率	前回(36.12)投票率	比較
男女計	15,749人	12,493人	3,256人	79.33%	75.95%	3.38%
男	18,238	12,680	5,558	69.53	64.65	4.88
女	33,987	25,173	8,814	74.07	69.89	4.18

県知事選挙男女別投票成績

塚吉	14,201	郎賛郎
浦沢	9,688	助効
田	1,136	三
十	148	寿
浄		浄
十		十
補欠選挙		補欠選挙

県知事選挙男女別投票成績

人口動態

（昭和40年10月末日現在）

人口			57,164
世帯数			11,952
（10月中）			
出生	68	死亡	38
婚姻	33	離婚	2
転入	170	転出	159

百七十三名の市政功労者を表彰

三津屋子供会等二団体も

なるのは、個人または団体で、次きに該当する者を市長が表彰するものです。

1. 市議会の議員として十年以上その職にあった者
2. 市長、助役または収入役として八年以上その職にあった者
3. 市の執行機関としての委員会の委員、苦しくは委員として十年以上その職にあった者
4. 前各号に掲げる者の他、市の非常勤の特別職に十年以上在職した者
5. 新津市職員定数条例に定める市職員として二十年以上在職した者
6. 科学、芸術、技芸、教育その他文化の向上に尽くしその功績が顕著である者
7. 保健衛生または、体育の向上に尽くし、その功績が顕著である者
8. 道路、河川、公園その他公共的施設の設置または維持管理に尽くしその功績が顕著である者
9. 災害罪故、犯罪、交通その他社会不安の発生防止若しくは除去または人命救助、財産保護に尽くし、その功績が顕著である者
10. 貯蓄、納税のために尽くし、その功績が顕著である者
11. 第6号から前号までに掲げるもののほか、これらに準ずることが適当と認められる者、または市行政に積極的に協力、援助した者でその功績が顕著であると認められる者

さきにお知らせしましたように、農地被買収者に対する「農地償金」支給について準備がととのいましたので、皆さんからの請求受付事務を開始いたしました。

手続きのしかたは、まず農地報償室（市役所新館二階）へおいでの上説明をきいて下さい。

なお、請求手続書類の

農地報償金の受付事務開始

住宅金融公庫融資による昭和四十年度分譲住宅の購入希望者を次の要領によって募集します。

一、申し込み受付期間　昭和四十年十一月二十一日から十二月十日まで

二、申し込み受付場所　市役所民生課

三、申し込み資格

みずから居住するために住宅を必要とするものの貸しまたは分譲住宅を取得できないもの。

四、居住しようとする家族が一人以上あること。

自己負担金の納入ができるもの。公庫からの借入金の償還見込みが確実であるもの。

五、申し込み数は建設戸数の二倍を上限とする。

六、申し込みの決定

申し込み数が建設戸数をこえた場合は、公開抽選によって決定します。

七、公庫から借入金

借入金は最高八十七万円までで、月収約四千三八十一円に対し、十万円の割合で融資されますので、八十七万円を借りる場合には三万八千円余の収入が必要です。

なお、この借入金の利率は年利五分五厘です。

年間元利均等毎月割賦償還の場合は分譲住宅で八十万円、諸経費四百五十万円（合計百五十万円）の場合、借入金の償還額は年利五分五厘で八十万円、諸経費四百五十万円、合計百五十万円の場合は積算額にあたっては多少の増減があります。

八、土地、建物の登録と抵当権設定

分譲価格のほかに土地建物の登録税、抵当権設定などに要する経費が二万五千円ほどかかります。

不明の点については、公庫に照会してください。

九、自己負担金納入方法

自己負担金の納入方法は、分譲総額の八分の一を頭金として募集します。

なお、この頭金は、公庫から公庫借入金を差し引いた額（八万円以内）を仮受約の際に半額、住宅完成後引き渡しの際に残額を精算していただきます。

十、取り扱い金融機関

新潟相互銀行（新津支店で取り次ぎます）。

この関係は総面積三万十一、分譲価格

建物（十六坪）

九十一戸当たりの総面積三万八千円、

土地（六十坪）四十六万二千円、諸

附帯設備七万円、

十一、分譲住宅の——希望者募集

住宅公庫融資による分譲住宅の購入希望者を募集しています。

申込者は、市役所民生課で、年間元利均等毎月割賦償還によって募集します。（八十万円、四百五十万円）

十二、地

市役所民生課

三、申し込み資格

みずから居住するために住宅を必要とするものの貸しまたは分譲住宅を取得できないもの。

四、居住しようとする家族が一人以上あること。

自己負担金の納入ができるもの。公庫からの借入金の償還見込みが確実であるもの。

五、申し込み数は建設戸数の二倍を上限とする。

六、申し込みの決定

申し込み数が建設戸数をこえた場合は、公開抽選によって決定します。

七、公庫から借入金

借入金は最高八十七万円までで、月収約四千三八十一円に対し、十万円の割合で融資されますので、八十七万円を借りる場合には三万八千円余の収入が必要です。

なお、この借入金の利率は年利五分五厘です。

年間元利均等毎月割賦償還の場合は分譲住宅で八十万円、諸経費四百五十万円（合計百五十万円）の場合、借入金の償還額は年利五分五厘で八十万円、諸経費四百五十万円、合計百五十万円の場合は積算額にあたっては多少の増減があります。

八、土地、建物の登録と抵当権設定

分譲価格のほかに土地建物の登録税、抵当権設定などに要する経費が二万五千円ほどかかります。

不明の点については、公庫に照会してください。

九、自己負担金納入方法

自己負担金の納入方法は、分譲総額の八分の一を頭金として募集します。

なお、この頭金は、公庫から公庫借入金を差し引いた額（八万円以内）を仮受約の際に半額、住宅完成後引き渡しの際に残額を精算していただきます。

十、取り扱い金融機関

新潟相互銀行（新津支店で取り次ぎます）。

この関係は総面積三万十一、分譲価格

建物（十六坪）

九十一戸当たりの総面積三万八千円、

土地（六十坪）四十六万二千円、諸

附帯設備七万円、

十一、分譲住宅の——希望者募集

住宅公庫融資による分譲住宅の購入希望者を募集しています。

申込者は、市役所民生課で、年間元利均等毎月割賦償還によって募集します。（八十万円、四百五十万円）

十二、地

市役所民生課

三、申し込み資格

みずから居住するために住宅を必要とするものの貸しまたは分譲住宅を取得できないもの。

四、居住しようとする家族が一人以上あること。

自己負担金の納入ができるもの。公庫からの借入金の償還見込みが確実であるもの。

五、申し込み数は建設戸数の二倍を上限とする。

六、申し込みの決定

申し込み数が建設戸数をこえた場合は、公開抽選によって決定します。

七、公庫から借入金

借入金は最高八十七万円までで、月収約四千三八十一円に対し、十万円の割合で融資されますので、八十七万円を借りる場合には三万八千円余の収入が必要です。

なお、この借入金の利率は年利五分五厘です。

年間元利均等毎月割賦償還の場合は分譲住宅で八十万円、諸経費四百五十万円（合計百五十万円）の場合、借入金の償還額は年利五分五厘で八十万円、諸経費四百五十万円、合計百五十万円の場合は積算額にあたっては多少の増減があります。

八、土地、建物の登録と抵当権設定

分譲価格のほかに土地建物の登録税、抵当権設定などに要する経費が二万五千円ほどかかります。

不明の点については、公庫に照会してください。

九、自己負担金納入方法

自己負担金の納入方法は、分譲総額の八分の一を頭金として募集します。

なお、この頭金は、公庫から公庫借入金を差し引いた額（八万円以内）を仮受約の際に半額、住宅完成後引き渡しの際に残額を精算していただきます。

十、取り扱い金融機関

新潟相互銀行（新津支店で取り次ぎます）。

この関係は総面積三万十一、分譲価格

建物（十六坪）

九十一戸当たりの総面積三万八千円、

土地（六十坪）四十六万二千円、諸

附帯設備七万円、

相談員に村木さん

戦傷病者援護を強化

戦傷病者等援護法による援護の手がさしのべられ、善意ある人びとの手によって、きびしい社会の中でそれぞれ生業に励んでおられます。

これらのかたがたには金国では六十万人をこえる戦傷病者が文字通り身体の障害を克服して、善意ある人びとの手がさしのべられ、きびしい社会の中でそれぞれ生業に励んでおられます。

これらのかたがたには、この制度で十月一日から全国的に採用されました。

この制度は、戦傷病者を援護するとともに、一般の社会福祉の増進を図るとともに、国民の間に傷病者の理解と協力を求めるものです。

相談員の仕事は戦傷病者に対する各種の援護制度（傷病恩給や障害年金、療養費または障害一時金、療養費の給付等）の受給に関する援護施設の利用などを含むこと、職業補導、就職、生活上の問題など福祉一般の業務を行なうことになっています。

これらのことについてお困りの方や、おなやみの方には遠慮なく相談してください。

善意をありがとう

つぎの人たちから、少しでもお役立てたいとの善意の寄せられました。

増井　俊　勝

ちから、少しでもお役立てたいとの善意のかたがたにあたたかい善意がよせられました。

昭和41年度幼稚園々児募集

昭和四十一年四月から、あらたに入園する市立幼稚園の児童を、次のように募集いたしますから、入園希望者は募集期間中に、幼稚園長宛願書を提出されるようお知らせいたします。

1. 市立幼稚園で教育方法にもとづく適切な教育を行なう。
2. 資　格

五才児　昭和四十一年四月一日

四才児　昭和四十二年四月一日

昭和四十三年四月一日

昭和四十四年四月一日

昭和四十五年四月一日

昭和四十六年四月一日

昭和四十七年四月一日

までの間に出生された者。

3. 願書受付期間　昭和四十一年一月十日から、一月二十日まで。

願書の用紙、募集要項は各幼稚園からもらって下さい。

4. 募集人員

入園許可は、別表のとおり園長診断等により選考し、なお超過の場合は抽せんによって決定いたします。

幼稚園名	場所	募集予定人員		
		満五才児	満四才児	計
新津市第一幼稚園	新津市第一小学校内	三五	五九	九四
新津市第二幼稚園	新津市第二小学校内	三一	五六	八七
新津市第三幼稚園	新津市第三小学校内	三〇	六〇	九〇
小合幼稚園	小合小学校内	一四	二一	三五
東幼稚園	東小学校内	一七	二〇	三七
計		一二〇	二一〇	三三〇

十二月二十五日発行予定の広報にいつ第百四十三号は都合により、昭和四十一年一月一日に発行いたします。

ふなおか学園職員募集

ふなおか学園（精神児童養護施設）＝五泉市西四ツ屋地内＝職員を募集しています。

用務員調理婦以外は、応募資格がありません。

神経弱児児童施設和合学園内、中東地区精神、児童指導員一名、用務員一名、調理婦三名、用務員一名、計一名、月末日申し込み、分譲価格

建物（十六坪）

九十一戸当たりの総面積三万八千円、

土地（六十坪）四十六万二千円、諸

附帯設備七万円、

新年祝賀

主催　新津市

会場　新津第一小学校（体育館）

日時　昭和四十一年一月一日　午前十一時

会費　金二百円

名刺交換会

お申し込みは12月18日まで（期日厳守）

住所、氏名（必要ある場合は職業）明記のうえ市役所総務企画課、または区長へ会費を添えて申込みください。

各農業協同組合